

## 第2期丸亀市こども未来計画 中間見直し（案）に対する パブリックコメントの結果について

丸亀市では、令和2年度から令和6年度までの子育て支援施策に関する「第2期丸亀市こども未来計画」を策定しております。この計画の中間年となる、令和4年度の中間見直しにあたり、見直し案に対する市民の皆様のご意見等をお伺いするパブリックコメントを実施しました。

その結果、皆様から9通15件のご意見をいただきました。いただいたご意見とそれに対する丸亀市の考え方は下記のとおりです。

なお、提出いただきましたご意見は、その意見の趣旨を損なわない程度で要約しております。

### 1. 概要

#### (1) 募集方法

##### ① 募集期間

令和5年2月15日（水）～令和5年3月16日（木）

##### ② 意見提出の方法

郵送、FAX、電子メール、持参

##### ③ 資料の閲覧場所

市ホームページ、丸亀市役所（子育て支援課、情報公開コーナー）、綾歌・飯山市民総合センター、本島・広島市民センター、各コミュニティセンター（本島・広島を除く）、丸亀市保健福祉センター、綾歌保健福祉センター、飯山総合保健福祉センター、中央・綾歌・飯山図書館

#### (2) 提出数等

##### ① 提出数

9通

##### ② 提出方法

電子メール 9通

##### ③ 意見数

15件

ご意見（要約）	意見に対する市の考え方
ヤングケアラーについて	
<p>1 丸亀市におけるヤングケアラーの実態調査は実施されているのか。調査方法としては、全学校でのアンケート調査が適切だと思う。アンケート調査を行い、個々のケースで相談援助の実施、スクールソーシャルワーカーの対応や関係機関との連携を図っていくのが望ましい。また、支援対策の方針を体系化して示すことを望む。</p>	<p>ヤングケアラーの実態調査につきましては、令和5年度に次期計画に向けてのアンケート調査を行いますので設問の項目に含めたいと考えます。次に、スクールソーシャルワーカーの対応ですが、児童の不登校・学校生活の困りごと等を通じ解決していく中で、ヤングケアラーの問題についても対応してまいります。また、ケース会として関係機関との連携を引き続き図ってまいります。</p>
施設管理計画や教育・保育の提供について	
<p>2 栗熊保育所の民営化の計画について、地域住民や保護者に説明会が実施されているが、住民の意見によって計画が変更されることがあるのか。また、民営化を受け入れるとして、今までのように地域に密着した運営は行われるのか。民営化の方針が既に決まっているなら、方向性を示し住民の意見を取り入れるようにして欲しい。民営化に対し、不安や諦めの気持ちを抱くことなく、地域住民や保護者が主になって作られる保育所でなければならない。</p>	<p>市としましては、保護者会や住民への説明会を行い、栗熊保育所を民営化する方針を決定いたしました。栗熊保育所の民営化については、現在、民営化検討協議会において、保護者や地域の方々との民営化に向け協議を行っているところです。この協議会の中では、民営化がより良いものとなるよう、地域とのつながり等、引き継いでほしい内容について話し合っており、今後も、保護者や地域の方々のご意見を伺いながら、進めていきたいと考えています。</p>
<p>3 施設統合で施設が安全な場所に建設されるのは良いことです。しかし、保育園・幼稚園・こども園、それぞれの役割や保護者のニーズが違うので、こども園だけ増やして行くのは方向性が違うように感じます。</p>	<p>認定こども園は、幼稚園と保育所の機能をあわせ持つため、保護者の就労状況等が変化した場合でも、通いなれた園を継続して利用することができ、保護者ニーズの多様化に対応できるものと考えます。今後も、子どもたちのより良い幼児教育・保育環境の整備に努めていきます。</p>

ご意見（要約）	意見に対する市の考え方
<p>4 新しく統合予定のこども園・民間委託予定の保育所の規模や受け入れの定員はどれくらいですか。また、公立保育所の保育時間の延長は考えていますか。保護者の労働環境も変化し、早朝・延長保育が必要な家庭が増えていることへの対応ができていないのでは。</p>	<p>青ノ山保育所・城東幼稚園統合の「こども園」は定員 150 人規模、民営化検討の「保育所」は定員 100 人規模を想定しています。</p> <p>現在、早朝・延長保育などの特別保育は主に私立園が担っております。公立保育所につきましては、まず、待機児童の解消のための保育士確保に努めておりますので、その後に、保育時間の延長を検討してまいります。</p>
<p>5 保育士や幼稚園教諭の仕事の負担は減っていないのに、配置人数も増えず職離れも止まらない。子育てをしながらでも、働き続けられる環境を整えて欲しい。</p>	<p>待機児童解消のためには、保育士確保を最重要課題と位置付けておりますので、今後も保育士の処遇改善や負担軽減を図り、保育士確保及び離職防止に努めてまいります。</p>
<p>6 保育所での様々な事件・事故等を受け、保育士の配置基準の見直しや保育士確保のための新しい施策はありますか。保育士への人的環境を整えることで、体力的・精神的負担の軽減となり、保育の質の向上につながるのでは。そして、安心して子どもを預け働くことのできるまちになると思います。</p>	<p>配置基準の見直しについては、国への要望を継続して行います。</p> <p>保育士確保については、引き続き、市内の保育所等に保育士として勤務するための修学資金や就職準備金の貸し付け、市内私立園の保育士への賃金上乘せ補助等、市独自の保育士確保対策事業に取り組むとともに、公立園では、事務補助員の配置や ICT の導入等、保育士の負担軽減に努めています。</p>

ご意見（要約）

連携について

7	<p>施策に対して、丸亀市がどのような体制のもと子育て支援に取り組んでいるのか、関係機関の体制をイメージ図として示していただけると分かりやすい。</p>	<p>次期計画で対応できるよう検討してまいります。</p>
8	<p>関係機関の連携は必須である。関係機関の垣根を排除し、子どもや子育て家庭を中心に捉え、何ができるか、どうするか考えていくべきである。真摯に連携が取れるようになればと望みます。また、利用者支援事業の専門的職員の地域巡回は、回数を増やし情報共有もできることを望む。</p>	<p>関係機関の連携は重要なことと考えます。しかし、関係機関の全体での連携会議の実施は予定しておりません。現時点では相談者の問題内容により関係する機関と個別に連携を図り対応しています。今後は、国の動きや丸亀市で進められている重層的支援体制整備事業を視野に連携を検討してまいりたいと考えます。また、利用者支援事業については、各事業者がそれぞれの特色を生かした相談体制で対応していただければと考えます。</p>
9	<p>子ども・子育て支援の提供を行う関係機関の連携会議の開催は具体的にどのような会議をどの程度行う予定ですか。</p>	<p>現時点においては、関係機関の全体での連携会議は予定しておりませんが、今後の国の動きや丸亀市で進められている重層的支援体制整備事業を視野に連携を検討してまいりたいと考えます。</p>

その他

10	<p>人と人とのコミュニケーションが減り、子ども・大人・お年寄り、皆が孤独を抱えている。寂しさや孤独感を拭うことが出来れば、待機児童・孤独死・広くは薬物やゲーム依存も減るのではないかと。スマートフォンなどを害悪なものと決めつけず、楽しく便利に使える道具として活用し、近所の皆がつながり、緑があふれる事故の少ない丸亀市となることを期待します。</p>	<p>意見としていただいた、世代間交流につつまして、また情報発信の道具としてのスマートフォン等の活用につつましては、次期計画の参考とさせていただきます。</p>
----	--	--

	ご意見（要約）	意見に対する市の考え方
11	兵庫県明石市が行っている「5つの無料化（こども医療費の18歳まで無料化、第2子以降の保育料の完全無料化、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」、中学校の給食費が無償、公共施設の入場料無料化）」をご存知でしょうか。また、全て所得制限なしで行っています。丸亀市も同じような取組はできませんか。	丸亀市におきましても、所得制限なしでこども医療費の18歳まで無料化、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」の代わりとして「ハッピーファーストバースデー事業」の実施、中学生までの給食費の無償を行います。第2子以降の保育料の完全無料化、公共施設の入場料無料化につきましては、子ども施策の参考とさせていただきます。
12	未就学児に対して支援できる場所が少なく、支援を受けることができない家庭への事業を強化して欲しい。	次期計画について、施策としての貴重なご意見として参考とさせていただきます。
13	子育て中の保護者の精神的負担を軽減するため、一時預かりクーポンなど子育てに直結する支援クーポンを考えて欲しい。	クーポン作製には費用が発生しますので、今のところ考えておりません。保護者の精神的負担の軽減に対する意見につきましては、次期計画の参考とさせていただきます。
14	計画48頁 成人期に向けての健康づくり・保健対策の、妊婦体験や赤ちゃんふれあい体験、モデル人形を使っでの保育実習の実施について、丸亀市内すべての中学校において行っていますか。コロナの影響もあると思いますが、実施していないところもあると聞きました。全ての中学校で全学年が受けられるようにして欲しい。親から話を聞くより、専門家（助産師）の講座や育児中のママの話を聞く方が、思春期の子どもにとって素直に受け入れられる機会になると思います。	現在、1団体が赤ちゃんふれあい体験事業を、丸亀市環境づくり支援補助金を利用して実施いただいております。 新型コロナの影響・中学校の行事の都合などで、6中学校全部での授業は難しいと考えますが、ご意見のとおり全生徒に体験してもらえよう、またこのような体験学習の機会が継続できるよう教育委員会とも連携し保健学習の充実に努めてまいります。

ご意見（要約）	意見に対する市の考え方
<p>15 P T A活動のことですが、高松市では入会したい人が参加する制度を取っています。丸亀市においては、そのような制度はなく、全ての保護者がP T A会員となり役員もその中から決まる状況です。ヤングケアラーも問題になっていますが、共働き世帯も増え入会したい人だけが参加する制度にして、生活の負担を軽減するべきではないか。また、自治会には色々な役回りがあるが、仕事をしているので参加できず、自治会に加入をしていない。そうすると、回覧板が回ってこないで自治会のイベント等の情報も知ることができない。コミュニティセンターによっては、L I N E等を活用して情報発信を行っています。そうすることにより、若い世代にも情報が届き、イベント等に参加することができます。世代間交流にもつながるのでは。</p>	<p>意見としていただいた、SNSを利用して情報発信をすることでの世代間交流等につきまして、次期計画の参考とさせていただきます。</p> <p>また、その他のご意見は担当課に伝えさせていただきます。</p>